

# ゴーヘッドズ 速報

Goaheads

第22号 平成26年9月13日

与四球と守備の拙さも重なって！

今日も後1本出ず・・・

	1	2	3	4	5	6	7	R
G	0	0	0	0	0	0	0	0
M	2	3	0	0	0	0	×	5



9/13(土)勝てばSCLチャンピオンズトーナメント行が決まる、今日の1戦、モリソズを岡村公園野球場に迎え、初対戦を行った。カードは3試合連続となる先攻で始まった。その初回の攻撃、二人が倒れ二死となったが、三番光希が、合わせたバッティングで中前安打で出塁、そして4番昌平も右中間を破る安打を放ち、この打球で光希は一挙三塁まで進む、昌平も次打者の時に二盗を決め、二死ながら、二・三塁とチャンスメイクした。しかし、次打者が続けず、絶好のチャンスを逸した。その裏の相手攻撃、一度死んだ先頭打者が右線に2ベースで出塁、次打者の犠打処理に野手がハンプルし、無死一・三塁となる。そして三番に2-2からレフトオーバーに運ばれ三塁走者が生還し1失点、後続二打者を連続三振に斬り二死とするが、次打者を打ち取ったが、ここで痛い守備の乱れにより、2点目を失った。次打者は見逃三に斬るも、初回から2点を追いかける展開となった。翌2回の攻撃、一死から失策により出塁するも、打線は続かず、この日も無失点、その裏の攻撃、この回の二打者を凡打に斬り、あっさり二死としたが、次打者には、今日の勝敗を決めたと言っても過言でない四球で出塁を許す。ここから、3つの安打と四球により、3点を失ってしまった。3回・6回にも四球、安打で出塁するも、ここでも残塁の山、しかし、6回の攻撃で相手ミスに付け込む。この回先頭が野手の失策、次打者は死球で出塁、後続の二ゴロの間に、場面は一死一・三塁、ここで今日2三振の深沢が打席に入る。叩く事が大事なこの場面、1-0から叩いた打球は、投手に阻まれ、三本間に走者が挟まれる。粘ったが、三塁タッチアウトで二死一・二塁。続く達脇はポテポテのサードゴロ、が、懸命に走り、内野安打とし二死満塁とした。そして、次打者も粘ってカウント3-2とし、二つファイルで粘った8球目、何とセカンドランナー深沢がボーンヘッド、牽制に掛かり、RPIに持ち込もうとしたが、三塁走者がホームでアウトになり、土気・勝負を完全に相手に渡してしまった。最終回は、ピンチを迎えたが何とか封、しかし、攻撃は、チャンスも無く、残念ながら、CT行にはならなかった。

振り返ってみると、やはり守備の乱れが一番だろう。5つ失策があったが、2つが失点に繋がりが、1つが失点を演出してしまった。守備には、好不調の波が無いはずなので、先ずは守備でリズムを。次に相手との差が出てしまったのが与四球の数、相手が2に対して、我がチームは5個、更には、1イニングで2つ出してしまう、打線が繋がっているチームだけに、得点に絡んでしまうのは必須である。が、そんな中でも、良いと感じるシーンも。今日のベンチは非常に元気があった。また、ミスが多かったゲームであるが、チームで吸収しようという意識が非常に感じられた。次節は、負けられない区民大会だけに、今日のミスは今日で流し、次節に繋げよう！それにしても、6回のボーンヘッドは、何も声が出ない、大馬鹿プレーですね。「焦る心に間が躍る」の最たる例でした。本当に、す・み・ま・せ・ん